

第2章 まちづくりの問題点と課題

2 - 1 . 社会的動向を踏まえたまちづくりの課題

少子高齢社会の進展

バリアフリー化や子育てを支援する生活環境に配慮した施設の充実など、適切な都市施設の配置を実現していく必要があります。

市が進めている福祉等のソフト施策との整合を図った都市の施策を展開していく必要があります。

中心市街地の空洞化

市内において、既存の商業地と幹線道路沿道型の商業地の将来のあり方を検討する必要があります。

商業活動の圏域が大きく変化している中で、地域の将来像や特性に見合った商業地の活性化に取り組んでいく必要があります。

産業構造の変革

農業・林業等、本市の重要な基幹産業を維持、保全していく必要があります。

一方では、三陸縦貫自動車道の整備などによる土地利用ポテンシャルの向上を受けて、時代に見合った新たな企業の計画的な誘致など、地域の活性化と雇用促進を図る必要があります。

人々の生活スタイル、価値観の多様化

職・住近接型の都市形態の形成や余暇活動のレクリエーション施設の充実、ゆとりを実感できる住環境の確保など、多様な市民ニーズに対応していく必要があります。

環境問題への取り組み、自然環境との共生

豊かな自然環境や美しい景観は、本市の貴重な財産として、維持継承していくことが責務であります。

無秩序な市街地の拡大を抑制し、市街化の適正な誘導と自然環境の保全を図っていく必要があります。

市街地内の公園・緑地の確保

住環境・防災環境の向上を図り、安全で快適な市街地の形成に向けて、市街地内に公園・緑地などのオープンスペースを確保していく必要があります。

住民参加、官民協働のまちづくり

これからの都市計画には、住民と行政が一体となって取り組み、さらにこれを持続していくことが求められています。そのための体制・システムを確立していく必要があります。

2 - 2 . 都市づくりの課題

現況調査及び市民懇話会からの意見やアンケート調査等で収集した市民意向等を踏まえて、本市の都市づくりの課題を整理しました。

(1) 土地利用

住宅系土地利用

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
佐沼地区には区画整理が行われた良好な住宅地がある。	区画整理事業が行われた住宅地の住環境を保全していく必要があります。
住宅地の周辺には豊かな自然環境が残されている。 住宅地は「自然環境に配慮しながら、必要に応じて整備する」ことが求められている。 農村居住の良さのPRが必要である。	豊かな自然環境、優良な農地と調和した、住環境の維持、創造を図る必要があります。
東和、登米 ^{とよま} 地域等市街地には昔ながらのたたずまいが残っている。 空家、廃屋が多くみられる住宅地がある。 質を高める住環境整備を行うことが提案されている。 集落地の生活環境等整備が遅れている。 各集落に地域コミュニティがある。	人口減少地区における住環境の向上と地域コミュニティを維持していく必要があります。 市街地と集落地など、地域特性に応じた住環境の整備を促進していく必要があります。 U・Iターンなどの新規住宅需要の誘導と、需要に応じた住宅地を供給していく必要があります。

商業系土地利用

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
迫地域、南方地域、中田地域の一部に商業地が集中している。 迫地域に商業地が集約している。市の商業は、佐沼地区に向かっている。 迫地域の商業地に住宅が混在している。 各地域の商店街が衰退している。シャッターが降りっぱなしになっている。 個店は後継者不足で店を閉めている。 地域の商業地はお年寄りの買い物に不便である。 市の中心商業地を佐沼地区にしたい。	中心商業地と地域生活の商業地の明確な位置づけと、各商業地の役割に見合った商業機能の充実を図る必要があります。 佐沼地区の商業地など、空洞化が著しい既存商店街の活性化を促進していく必要があります。
迫、南方地域に大型小売店が集積しており、便利で、活気がある。 車社会への対応が遅れている。	都市計画区域外などに進出する郊外型、沿道型商業地の方向性を検討する必要があります。

工業系土地利用

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>津山地域と豊里地域に工業団地を有している。 新たな就業の場となる工業地の整備を進めることが求められている。 工業団地に空き地が目立っている。 新たな企業誘致の活動を進める必要がある。 公害を発生させる工場がなく、環境がよい。</p>	<p>産業施策、人口施策等と連携して工業系土地利用の促進を図る必要があります。</p>
<p>大企業がなく、地元雇用がない。現在は高速道路等の交通条件が悪く誘致が困難である。</p>	<p>高規格道路の整備による広域的な交通条件を考慮した工業系土地利用のあり方を検討していく必要があります。</p>

農地・山林及び自然系土地利用

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>雄大な北上川と北上川左岸の山並みが調和している。 減反などで農地が荒れていたり、遊休農地が散在している。 山林の維持管理が充分に行われていない。 自然環境を守り、環境の美化を進めてほしい。</p>	<p>本市を象徴する豊かな自然環境、優良な農地等を維持・保全し、次世代へ継承していく必要があります。 貴重な資産である自然の眺望景観を継承していく必要があります。</p>
<p>長沼、伊豆沼、内沼などの自然環境が人々のふれあいの場になっている。 北上川などの河川が全く活用されていない。 自然を観光や交流の場として活用してほしい。 平筒沼の環境は癒しの水辺である。</p>	<p>地域の生活や観光・レクリエーションなどへの自然や農地等を有効活用していく必要があります。</p>

（２）交通施設

幹線道路

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>三陸縦貫自動車道が整備中であり、開通によって、利便性の高まりが期待されている。</p>	<p>2つの広域的な幹線道路（高規格道路）の整備を促進する必要があります。</p>
<p>国・県道などの幹線道路は概ね整備されている。 地域間を結ぶ道路が少なく、市街地周辺部や橋周辺で交通渋滞を引き起こしている。橋や道路整備を進める必要がある。 市街地を迂回する道路が少ないため、大型トラックが地域の中心部を通過して危険である。</p>	<p>高規格道路等へのアクセスや市内各地域間を結ぶ幹線道路網を確立する必要があります。 都市計画決定されている幹線道路の整備を促進していく必要があります。</p>

生活道路・歩道

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>市街地全体の道路幅員が狭い。 幹線となる生活道路は舗装されつつある。</p>	<p>生活道路が不足している地区などへの道路整備を促進する必要があります。</p>
<p>幹線道路の歩道の整備は進んでいるが、未だ十分に整備されているとはいえない。 市街地内に歩道が十分整備されていない。通学路も危険である。 道路、歩道の除雪が不十分であり、歩行者の通行が危険である。 街路灯が少なく危険である。</p>	<p>歩道の充実、街路灯設置など、安全な歩行空間の確保を進める必要があります。</p>

公共交通

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>公共交通の利用促進を図るため、市民バスと鉄道との接続を向上させる必要がある。 市民バス、市民タクシーが実施され、幹線の交通はある程度確保されている。 市民バスが運行されているが、利用できない地区があるなど地域格差の改善が必要である。 市民バスの利用率の低下が懸念される。市民タクシー利用が限定的であり、広範囲に活用できる体制を検討する必要がある。 便が少なく、通勤・通学に利用しにくい。 高齢者が利用しやすいバスを望む。</p>	<p>鉄道、バスの利便性の向上と利用の促進を図っていく必要があります。 市内各地域間を結ぶバス交通を充実していく必要があります。</p>

（３）公園・緑地

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>水と緑に包まれた公園、広場の整備が進んでいる。 農村は自然を活かしている。</p>	<p>湖沼、北上川、農山村など、地域の特性や資産を活かした広域的な公園の整備を促進していく必要があります。</p>
<p>現在整備されている公園は市民に活用され、子どもたちが安心して遊べる環境にある。 市全体では公園の箇所数は多いが、配置に偏りがある。 現在の公園の管理が良くない。</p>	<p>公園・緑地が不足している市街地への新たな公園・緑地の確保を図る必要があります。 今後の、公園の維持管理のあり方を検討していく必要があります。</p>

(4) 河川・下水道施設

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>下水道、水路の整備は進行中である。 公共下水道区域以外では浄化槽設置が進んでいない。</p>	<p>衛生的な生活環境を維持するため、公共下水道事業、浄化槽設置等、地域特性を踏まえた下水道の整備を促進する必要があります。</p>
<p>下水道の整備が遅れており、雨水や生活排水の処理が不十分ある。そのため、河川に汚水が流れ込み、水質が悪化している。 コンクリート三面張り水路が多く、環境面からも改善が必要である。 水の里としては、整備進捗率が低い。</p>	<p>下水道整備にともなう河川の水質浄化と雨水処理機能の強化を図る必要があります。 河川では環境に配慮した水路づくり等の推進も必要があります。</p>

(5) 公共公益施設

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>市立病院、民間病院、各専門病院、診療所などの医療機関が充実しています。 救命救急病院がなく、救命救急病院へのアクセス性も悪い。 将来イメージとして「福祉のまち」のイメージが求められている。</p>	<p>市内に5つある医療機関の再編と福祉、子育てへの支援をさらに充実していく必要があります。</p>
<p>生涯学習の拠点である公民館は各地域に整備されている。 モデル校などの教育施設が充実している。特色のある教区がある。 既存の文化施設を活用していく。</p>	<p>教育施設、文化活動や伝統を継承する施設の機能的な再配置と利用の促進を図る必要があります。</p>
<p>庁舎が分散しており、利用者にとって不便である。</p>	<p>市庁舎、総合支所などの計画的な再配置を検討し、機能の集約を図る必要があります。</p>

(6) 観光・交流

地域特性、問題点等（市民意見）	課題
<p>ラムサール条約で有名な伊豆沼、内沼等世界に誇れる自然観光地がある。 北上川に沿って、自然や歴史文化資源を活かした観光施設が多い。 各地域それぞれに観光・交流施設がある。</p>	<p>散在する自然・歴史文化資源を活かした観光ネットワークを形成し、市全体での観光振興を図る必要がある。</p>
<p>伊豆沼、内沼及び観光道路の街路景観、サインが不足している。</p>	<p>観光・交流機能を支える観光道路の街路景観やサイン等の充実を図る必要がある。</p>